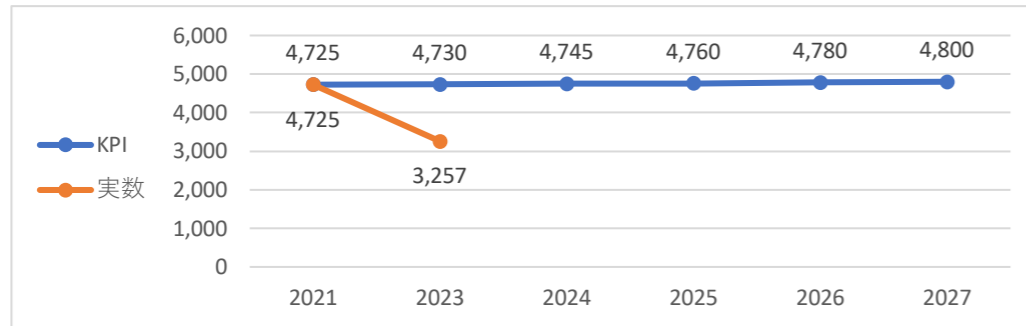


デジタル田園都市国家構想交付金の事業評価について

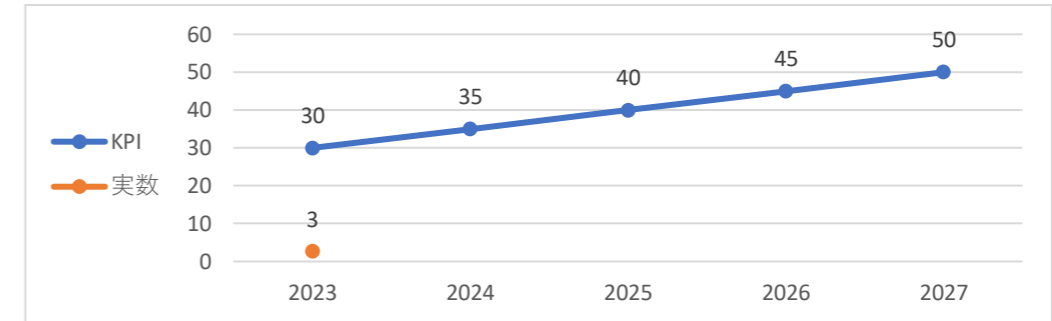
1. 事業名：中海・宍道湖・大山圏域 台湾との経済交流促進による中小企業活性化事業

2. KPI

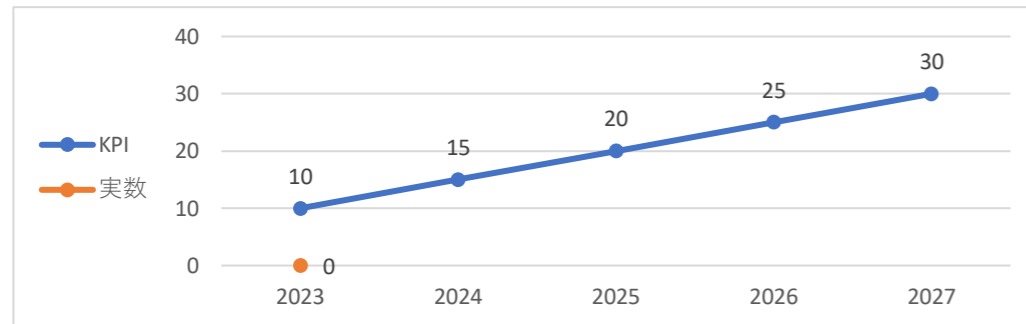
① 境港における台湾との貿易額



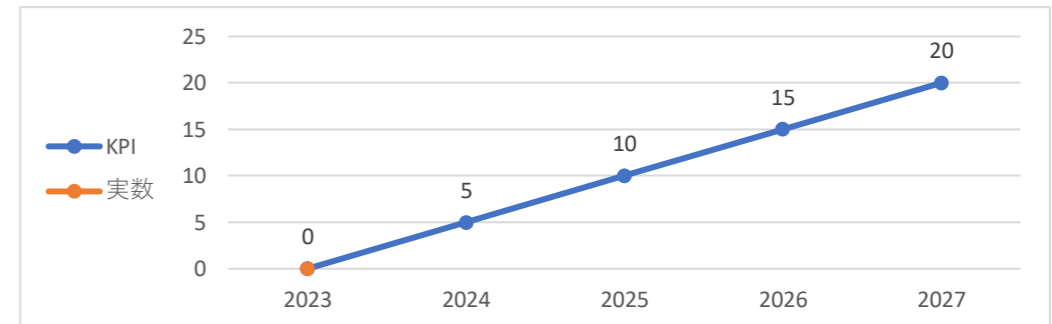
② 商談会等におけるマッチング件数の割合



③ 商談会等における成約及び成約見込み数の割合



④ 台湾向け商品の作成・提案件数



※事業の詳細は資料3 P.5 及び 補足資料1 P.8 のとおり

【事業効果】の選択肢

- 達成率が100%以上の場合
⇒ 地方創生に非常に効果があった
- 一部のKPIが目標に達しなかったものの、概ね成果が得られた場合
⇒ 地方創生に相当程度効果があった
- 達成状況はかんばしくなかったものの、取組そのものは前進した場合
⇒ 地方創生に効果があった
- KPIも悪化し取組も前進していない場合
⇒ 効果がなかった

① 事業効果	② 外部有識者からの評価		③ 今後の方針	
	事業の評価	意見	今後の方針	方針の理由
地方創生に効果があった ・FOODTAIPEI出展及び出展支援（2社） ・台北温泉祭、春節前建国花市において、圏域のPR ・台湾と圏域との文化交流を実施（春節前建国花市） ・台湾での経済活動、FOOD台北に向けたオンラインセミナー ・圏域内企業へ台湾、インドにかかるアンケート、意識調査 経済活動に限らず、圏域と台湾との関係を強化し、台湾進出の足がかりとなる事業を実施した。				